

# 事業概要資料

● NIHON AGRI, INC.

2019-07

# 企業概要

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 会社商号 | 株式会社日本農業                  |
| 所在地  | 東京都品川区西五反田1-13-7 マルキビル101 |
| 設立   | 2016年11月28日               |
| 資本金等 | 2億4500万円                  |
| 経営陣  | 代表取締役社長 内藤祥平              |
|      | 取締役 永田玲士                  |
| 従業員数 | 25名                       |

## マネジメント



内藤 祥平  
(CEO)

慶應義塾



McKinsey&Co



永田 玲士  
(COO)

慶應義塾



NOMURA



戸所 健一

慶應義塾



住友商事



河合 秋人

慶應義塾

Goodfind  
You'll find good to great.



岸田 賢

慶應義塾



TEMONA



飯塚 崇矩

慶應義塾



環境省  
Ministry of the Environment

## 海外営業部



周 無央

慶應義塾  
UCSB

三井物産



小林 潤也

慶應義塾

MIZUHO



韋 晟

東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

McKinsey&Co

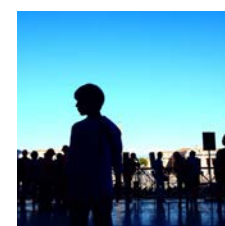


柴田 卓洋

上智大学  
SOPHIA UNIVERSITY

清华大学  
Tsinghua University

ishin



町田 圭

東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

McKinsey&Co



中司 章洋

東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

三井物産

株式会社日本農業 ミッション

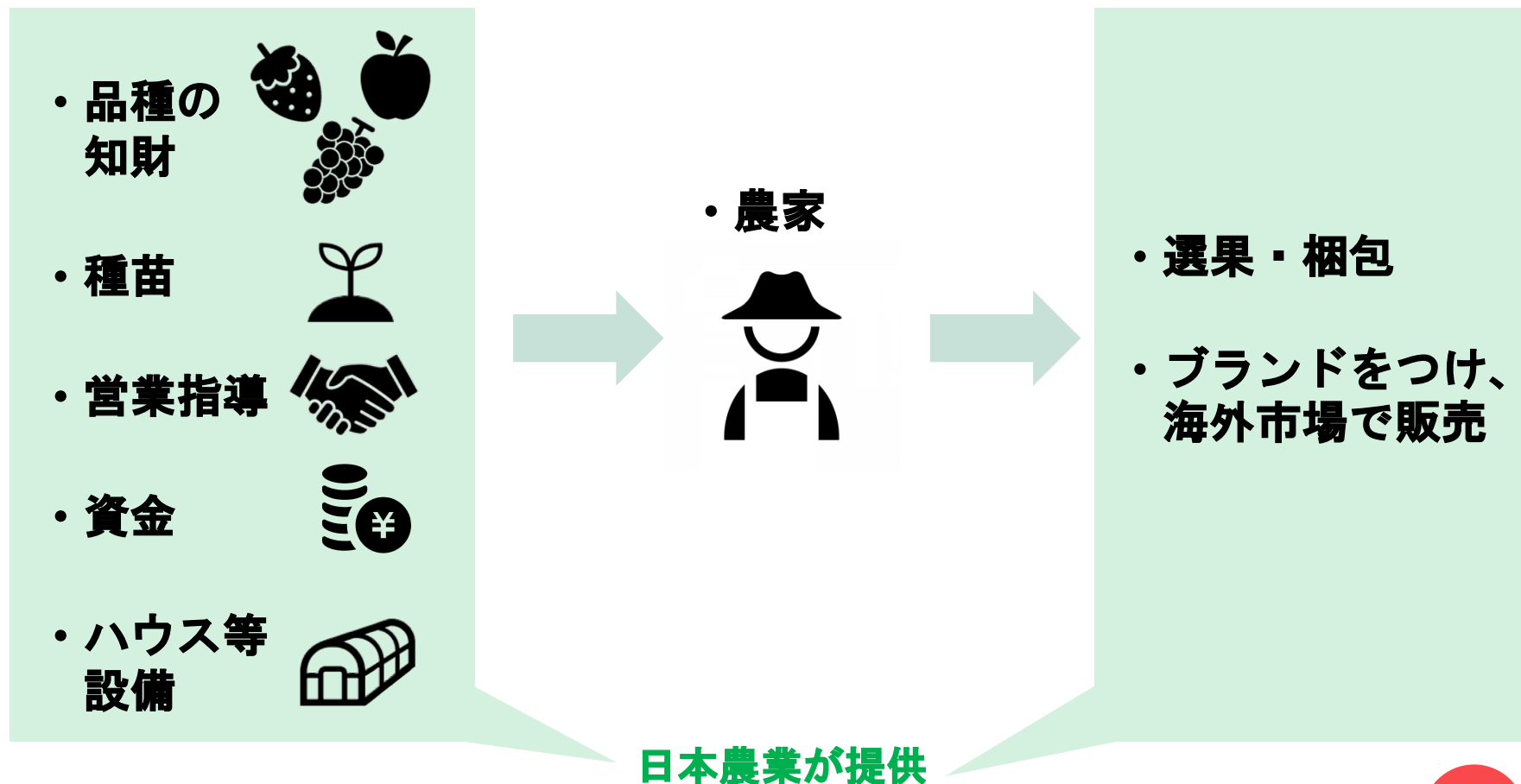
# 「日本の農業で、世界を驚かす」

～グローバル展開と知財ビジネスで、  
日本の農産業を再定義する～



# 弊社のビジネスモデル

農家が競争力のある作物を生産するためのインプットをパッケージで販売し、生産物にブランドを付与して販売。



# 弊社の取り組み

## 栽培 (仕入れ)

### 輸出用自社園地

自社で園地を保有し、  
輸出用小玉リンゴの生  
産に特化し、在庫を確  
保

### 契約栽培

農家に輸出用小玉リンゴ生  
産方法を伝授し輸出用リン  
ゴを農家から直接受注し、  
自社栽培では足りない分を  
確保

### 仕入れ

多様なチャネルより、  
輸出向けのリンゴを仕  
入れる

JA全農あおもり

株式会社 青研



### 輸出用小玉リンゴ生産方法の確立

- ・ 高密植栽培、反射シートの使用、粗剪定のみ等の取組み

### Ag-Techの活用

- ・ 豪州大使館と果樹関係Ag-techの日本への導入に関して協定を締結
- ・ ニュージーランド大使館と日本の農水省のりんごの技術交換に関する協定締結をバックアップ

### G-GAP取得支援

- ・ 海外では多くの業者がGGAP保有生産者からの仕入れを優先している中、国内農家の販路拡大のためにも、農家のGGAP取得を支援

## 選果

### 輸出用選果

青森県の選果業者と協業し、  
輸出に特化した設備を運営し、  
海外顧客の注文に柔軟に対応  
できる体勢を構築するととも  
に全体のプロセスを効率化

### 積載量倍増梱包

- ・ 輸出手順の効率化を目指し、新たな輸出用梱包形を開発しコンテナ積載量を拡大

## 輸出・販売

### 輸出・販売

選果したリンゴを海外に  
輸出し、自社でブラン  
ディング・マーケティング  
し海外にて自社ブラン  
ドで販売

### 営業メンバー現地駐在

- ・ 現地駐在員が各国に合ったブランディングや現地小売店と直接マーケティング戦略を練るところから、売り子指導までハンズオンでブランディング
- ・ 自社ブランドESSENCEを立ち上げ、タイのインドネシアでは日本産リンゴ輸出ナンバーワンを達成。他品目についても適用可能なブランドを育成

### 南半球リンゴ販売

- ・ 北・南半球の季節の逆転を利用し、5-8月はニュージーランドの高品質なふじりんごを弊社ブランドESSENCEの下、年間を通して東南アジアへ輸出

# 弊社の実績: 販売面（18年12月末時点）

タイとインドネシアで日本産りんご輸出ナンバーワン

|                                                                                                    | りんご輸出数量 (t) | 日本産りんごシェア (%) |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------|
| Thailand<br>      | 330 ton     | 45%           |
| Hong Kong<br>     | 530 ton     | 15%           |
| Taiwan<br>        | 280 ton     | 2%            |
| Indonesia<br>     | 100 ton     | 92%           |
| Malaysia<br>     | 3 ton       | 5%            |
| Philippines<br> | 15 ton      | 34%           |

# 弊社がGGAPのグループ認証の事務局となり、自社および契約農家のGAP取得を支援



日本のりんごで集団認証

韓国の審査機関に依頼

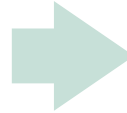
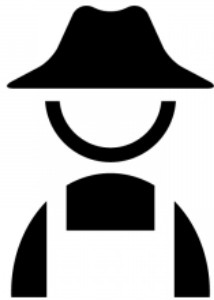
5農業法人で取得

合計21ha

インドネシア向けに輸出

**短期的な課題感は、農家・流通業者が継続取得するには費用対効果が合わず、持続可能な仕組みを構築する必要がある。**

**一人頭30万の  
取得コスト**



**営業の一つの武器に  
なるが、単価UPに  
つながらない**



ただ、長期的に見ると、インドネシア以外の諸国でも食品安全の視点は高まりつつ、小売・流通がGAPを求める時代が来る可能性もある。

**TESCO**  
**Lotus**

~200店舗



~180店舗

**makro**

~120店舗

**VILLA MARKET**  
WORLD OF FOODS SUPERMARKET

~30店舗



~10店舗

● NIHON AGRI, INC.

